

Ⅰ 団体情報

1 基本情報

...R7評価シート（R6決算）より転記
...R6具体的な行動計画より転記
...新たな記載欄

団体名	(公財) パシフィック・ミュージック・フェス ティバル組織委員会			所管課	市)文化振興課			
基本財産	136,760千円			記入者	担当	佐藤	電話	011-211-2261
設立年月日	平成14年(2002年) 4月1日			本市出資額	100,000千円		(出資割合	73.1%)
設立・出資目的	(設立目的) 本団体は平成3年に組織され、平成14年に財団法人化した団体であり、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（以下「PMF」という。）を通じて、若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を軸にした教育を実施するとともに、その成果を広く一般に提供し、あわせて演奏会その他の音楽の普及に関する事業を行うことにより、次代を担う若手音楽家を育成し、我が国の芸術文化の発展及び向上を図り、もって音楽を通じて世界平和に貢献することを目的とする。 (出資目的) 本市では、平成19年制定の「札幌市文化芸術振興条例」（平成29年に「札幌市文化芸術基本条例」へ名称変更）の前文において、文化芸術は「活力」といやりあふれる地域社会の実現と国際交流、世界平和に寄与するもの」とし、令和6年「札幌市文化芸術基本計画（第4期）」において「多様な文化芸術に親しむ機会の提供」を施策の一つとして掲げている。 パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（以下「PMF」という。）は、世界の若手音楽家を育成する教育事業を軸として、世界トップクラスの音楽に触れることのできる演奏会や、音楽の魅力を伝える普及事業により、市民が世界水準の優れた音楽に親しむ機会を提供しており、条例の理念や基本計画の施策を実現させる重要な要素となっている。 出資を通じて、本団体と本市の連携が緊密に確保され、PMFを着実かつ継続的に開催することを出資目的としている。			沿革	平成2年	民間企業等が主体となり、第1回PMFを開催		
					平成3年	PMF組織委員会（任意団体）が主体となり、第2回PMFを開催		
					平成14年	(財) PMF組織委員会として認可		
					平成22年	(公財) PMF組織委員会へと移行		
代表者	理事長（非常勤） 秋元 克広（市長）							
主な出資者	① 札幌市	(73.1%)	② 野村証券	(7.3%)	③ 北海道	(3.7%)		
	④ トヨタ自動車	(2.2%)	⑤ 北海道新聞社	(2.2%)	⑥ パナソニック	(2.2%)		

2 実施事業

① PMF事業（教育事業）	② PMF事業（演奏会事業）
③ PMF事業（音楽普及事業）	④
⑤	⑥
⑦	⑧

⇒「事業ごとの状況」参照

3 団体職員・構成員等

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					
常勤理事	1	0	0	0	10
常勤監事	0	0	0	0	
非常勤理事			7		
非常勤監事			2		
職員					
常勤管理職	0	3	2	0	16
常勤一般職	0	0	11	0	
非常勤職員			0		

役員の任期		
理事	2	年
監事	4	年
代表権のある役員の 就任年月		
理事長	H28.6	
常務理事	R3.4	
職員総数の推移(人)		
R05.4.1時点	16	
R06.4.1時点	17	

令和7年4月1日現在(単位：人)

プロパー職員の年齢構成				
10歳代	0	40歳代	5	
20歳代	0	50歳代	5	
30歳代	3	60歳代	0	
平均年齢		46.0	歳	

プロパー職員の退職・採用状況（人）					
	退職		採用		募集
	定年	中途	新卒	中途	
R4	0	0	0	2	1
R5	0	0	0	0	1
R6	0	0	0	0	1
R7	0	0	0	1	0

職員の採用については、嘱託職員として採用3年後（更新は1年ごと）に、適性や本人の意向等を踏まえた上で正職員に採用することを原則としている。そのため、必然的に募集と正職員としての採用との間には一定の期間が生じることとなる。
例）R7採用職員はR3年度中に募集をし、R4に嘱託職員として採用したもの

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分				R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)
財務状況 貸借対照表	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	443,858	533,775	(100.0%)	(+89,917)
			経常費用(b)	445,606	478,041		(+32,435)
			うち管理費等(c)	27,667	31,776	(6.0%)	(+4,109)
			うち人件費(d)	84,862	89,083	(16.7%)	(+4,221)
			当期経常増減額(e)	▲ 1,748	55,734		(+57,482)
			当期正味財産増減額(f)	▲ 1,769	55,714		(+57,483)
	負債対照表	資産(g)	資産(g)	345,959	402,432		(+56,473)
			流動資産(h)	54,525	33,881		(▲ 20,644)
			固定資産(i)	291,434	368,551		(+77,117)
			うち基本財産(j)	136,760	136,760		(0)
		負債(k)	負債(k)	27,782	27,823		(+41)
			流動負債(l)	27,782	27,823		(+41)
			固定負債(m)	0	0		(0)
			正味財産(n)	318,177	374,609		(+56,432)
			借入金残高(o)	0	0		(0)

6 所管局による検証（R6行動計画より）

今後の在り方 (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れること。)	(1) 団体の在り方、出資の在り方 PMFの創設者「レナード・バーンスタイン」の遺志である「音楽を通じた平和の実現」や「世界中の人と感動を分かち合うこと」は札幌市文化芸術基本条例の理念に通じることから、本市が主体的に継続開催することとしている。その後、公共分野を多様な主体が担うようになっているが、PMFは世界トップクラスの音楽に触れられる国際教育音楽祭という特別な性格を有しており、PMF開催に向けた調整やPMFの運営を担うことができる団体は、現在も本団体のみである。
	(2) 経営の安定性や自立を高める方策 30回を超えるPMF開催の歴史の中で、平成26年度には、グランドパートナーズ（PMFの活動・運営全般にわたり創設時から支援を続けてきた特別支援企業4社）による支援が終了し、持続的なPMFの開催に不安が生じたことから、平成27年度からPMFを本団体と本市の共催という形態に改めて公共性や社会的信用の向上に努め、もって経営の安定化を図った経緯がある。 今後とも、経営の安定性を高める方策としては、事業の公共性や本市の社会的信用を背景としながら、各企業との協力関係構築や協賛金確保を進める必要がある。

7 他の政令指定都市の状況

他政令市では類似事例無し。(他政令市への照会で確認済み)

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	278,621	361,411	(+82,790)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(0.0%)	(0.0%)	(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

II 事業ごとの状況

事業内容 1	PMF 事業（教育事業）	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	…R7評価シート（R6決算）より転記 …R6具体的な行動計画より転記
		×	×	○	×	
主要事業名	教育事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		世界最高水準のオーケストラ教育の実施により、次代を担う若手音楽家を育成し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
オーディションにより世界各国から選抜した若手音楽家に対し、世界最高水準のオーケストラ教育を実施するとともに、その成果の発表を行う。 【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業	市負担金	238,604（千円）

2.実施結果

(1)事業収支（単位：千円）			
項目	R5年度	R6年度	
収入	204,369	286,796	
（経常収益比）	(+46.0%)	(+53.7%)	
市補助金・交付金・負担金	156,653	238,604	
市業務委託料	0	0	
市指定管理費	0	0	
市施設利用料金収入	0	0	
自主事業収入（補助金除く）	0	0	
その他収入	47,716	48,192	
項目	R5年度	R6年度	
費用（支出）	251,071	269,394	
事業費	237,791	254,142	
管理費等	13,280	15,252	
項目	R5年度	R6年度	
収支差	▲ 46,702	17,402	
収支比率	81.40%	106.46%	

(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	オーディション受験者の出身国・地域数	62	-	70
②				
③				
④				
⑤				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	オーディション受験者数	1,123	-	1,344
②	オーディション合格者数	85	-	95
③	倍率（受験者数/合格者数）	13.2倍	-	14.1倍
④	PMF修了生の延べ人数	3,791	-	3,876
⑤				

3.所管局による評価

事業目的に対して事業の効果は

■十分出ている

□高める余地あり

□出していない

令和6年度は、以前から実施していたPMFオーケストラ演奏会や、様々な編成での室内楽やリンクアップ・コンサートなどの多彩な活動を通じて、次代を担う若手音楽家を育成すると同時に、クラシック音楽を支える将来の聞き手を育み、音楽ファンを拡大させるという二つの大きな成果を獲得したものと判断する。なお、活動指標と成果指標にあっては、事業の性格上これに代わる指標の設定は困難だが、大学等関連機関・団体への周知等に最大限努めており、目標を設定した場合においても達成のための手段が特段存在しないことから、目標の設定は行っていない。

事業内容 2	P M F 事業（演奏会事業）	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	×	○	×	
主要事業名	演奏会事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		世界最高水準の音楽家等による演奏会の開催により、優れた音楽演奏に接する機会を広く提供し、文化芸術の発展及び向上を図り、音楽を通じて世界平和に貢献する。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
PMFアカデミー生、修了生及び教授陣等による演奏会の開催		
【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業	市負担金	108,995（千円）

2. 実施結果

(1)事業収支（単位：千円）

項目	R5年度	R6年度
収入	218,231	223,706
（経常収益比）	(+49.2%)	(+41.9%)
市補助金・交付金・負担金	111,759	108,995
市業務委託料	0	0
市指定管理費	0	0
市施設利用料金収入	0	0
自主事業収入（補助金除く）	48,288	55,055
その他収入	58,184	59,656
項目	R5年度	R6年度
費用（支出）	178,432	190,933
事業費	165,982	176,634
管理費等	12,450	14,299
項目	R5年度	R6年度
収支差	39,799	32,773
収支比率	122.30%	117.16%

(2)活動指標

	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
① 公演数	27	25	30
②			
③			
④			
⑤			
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
① 演奏会入場者数	17,206	18,000	17,062
②			
③			
④			
⑤			

3.所管局による評価

事業目的に対して事業の効果は

■十分出ている

□高める余地あり

□出ていない

令和6年度は、音楽普及事業の一部企画内容を見直したこと等の影響により、演奏会入場者数が微減してしまったものの、PMFアンサンブル演奏会の回数増等により、公演数は目標を大幅に超える数値となっていることから、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は達成できたものと判断する。

事業内容3	PMF事業（音楽普及事業）	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	×	○	×	
主要事業名	音楽普及事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		演奏技術及び音楽指導方法の向上を図り、優れた演奏に接する機会を提供することにより、音楽に対する理解を深め、文化芸術の発展及び向上を図る。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
一般の人々が気軽にクラシック音楽に触れることができる機会を提供し、クラシック音楽の普及を図る取組みを行う。 1【リンクアップ・コンサート】アメリカ・ニューヨークのカーネギーホール教育プログラムをもとに開発した札幌版の音楽教育プログラム。札幌市内小学生を対象に実施。 2【マスタークラス】公開マスタークラスとして、PMF教授陣がアカデミー生に指導を行い、その模様を一般に公開するプログラムを実施するほか、音大生のためのマスタークラスとして、札幌及びその近郊で音楽を学ぶ専攻生を対象に、PMF教授陣のレッスンを実施。 3【PMFクラシックLABO】初心者にもわかりやすくクラシック音楽の魅力を伝える講座。 4【オープンリハーサル】PMFオーケストラのリハーサルやゲネプロを一般に公開するプログラム。 5【オーケストラ訪問リハーサル】PMF教授が札幌市内の中・高校の学生オーケストラを訪問し、指導を実施。 【市の関連事業名】 パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業	市負担金	13,812（千円）

2.実施結果					
(1)事業収支（単位：千円）	項目	R5年度	R6年度	(2)活動指標	
	収入	20,643	23,272	① オープンリハーサル開催数	R5年度実績 5 R6年度目標 4 R6年度実績 4
	(経常収益比)	(+4.7%)	(+4.4%)	② PMFクラシックLABO開催数	2 2 3
	市補助金・交付金・負担金	10,209	13,812	③ リンクアップ・コンサート開催数	1 1 1
	市業務委託料	0	0	④	
	市指定管理費	0	0	⑤	
	市施設利用料金収入	0	0	(3)成果指標	
	自主事業収入（補助金除く）	3,105	2,287	① オープンリハーサル来場者数	R5年度実績 448 R6年度目標 500 R6年度実績 1,175
	その他収入	7,329	7,173	② PMFクラシックLABO来場者数	267 100 108
	項目	R5年度	R6年度	③ リンクアップ・コンサート参加者数	662 700 748
	費用（支出）	16,103	17,714	④	
	事業費	14,166	15,490	⑤	
	管理費等	1,937	2,224	3.所管局による評価	
	項目	R5年度	R6年度	事業目的に対して事業の効果は ☒ 十分出ている ☐ 高める余地あり ☐ 出ていない	
	収支差	4,540	5,558	令和6年度について、来場者数は、PMFクラシックLABOについては音楽をより身近に、気軽に楽しんでもらえるよう企画内容を見直したこともあり、目標値を令和5年度から下げたものの、いずれも目標を超える人数となっており、高い需要があると判断されることから、子ども向け事業をはじめとして今後も力を入れることが望ましいと考えている。また、公演数も目標を超える数値となっていることから、札幌市民や観光客に優れた音楽演奏に触れる機会を幅広く提供するという目的は達成できたものと判断する。	
	収支比率	128.19%	131.38%		

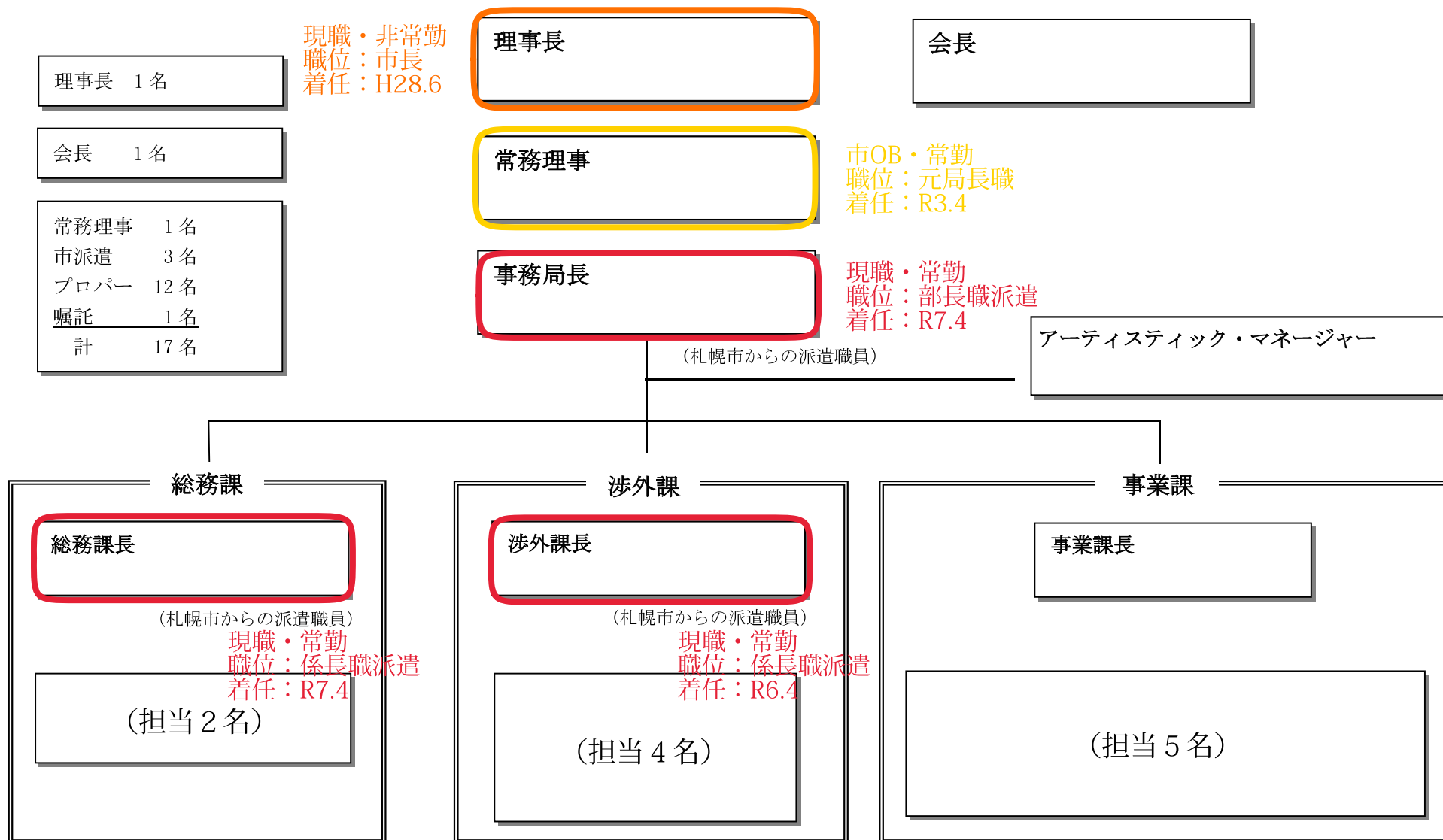
III 役員・管理職情報

令和7年7月1日現在

OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	R〇.〇		（R6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください）
現職	非常勤役員	理事長	市長	H28.6		
市OB	常勤役員	常務理事	元局長職	R3.4	当法人における業務全体の執行管理	P M Fは札幌市の文化行政の一翼を担っており、札幌市と緊密に連携しながら音楽祭を実施することが求められることから、札幌市政に精通し、先頭に立って市政を担ってきた人材が必要なため
現職	非常勤役員	理事	局長職	R7.4		
現職	常勤管理職	事務局長	部長職	R7.4	事務局内における事務の総括	人事管理の専門的知識や豊富な行政運営経験が必要なため
現職	常勤管理職	総務課長	係長職	R7.4	事務局の庶務・財務・人事管理、札幌市共催事業である点を踏まえた各種調整業務、補助金申請に係る業務など	財務や人事管理などの専門的知識が必要なため
現職	常勤管理職	渉外課長	係長職	R6.4	企業との協力関係構築や協賛金の確保	市の施策や事業の公共性を高度に理解し説明するため

公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会事務局組織図

令和7年4月1日現在



公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

評議員・役員等名簿

令和7年(2025年)6月30日

(敬称略)

評 議 員

氏 名	出身母体等肩書・役職
阿部 博光	北海道教育大学 名誉教授
遠藤 安彦	一般財団法人地域創造 顧問
杉木 峯夫	東京藝術大学 名誉教授
西山 隆司	北海道経済同友会 代表幹事
吉本 光宏	合同会社文化コモンズ研究所 代表

任期 令和8年度(2026年度)に開催する定時評議員会の終結の時まで

理 事

氏 名	出身母体等肩書・役職
秋元 克広 (理事長)	札幌市長
井手 詩朗	国立音楽大学 副学長
松岡 祐治	株式会社ヤマハミュージックジャパン 代表取締役社長
向井 諭	弁護士法人向井・中島法律事務所 弁護士
近藤 保博	京都市交響楽団 顧問
佐保田 昭宏	株式会社北海道新聞社 執行役員 企画室長
知野 学	札幌市市民文化局長
村山 英彦 (常務理事)	元札幌市経済観光局長

任期 令和8年度(2026年度)に開催する定時評議員会の終結の時まで

会 長

氏 名	出身母体等肩書・役職
上田 文雄	前札幌市長(前公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会 理事長)

任期 令和6年(2024年)7月1日から令和8年(2026年)6月30日まで

監 事

氏 名	出身母体等肩書・役職
水野 克也	公認会計士(税理士法人札幌中央会計代表社員)
水落 隆志	札幌商工会議所常務理事

任期 令和8年度(2026年度)に開催する定時評議員会の終結の時まで